



軍艦島と稼働中のPOTEKA

## 世界遺産の軍艦島でPOTEKA稼働

2015年に世界遺産として登録された「明治日本の産業革命遺産」の一つである端島炭坑（通称軍艦島）で、POTEKAが稼働しています。これは、「情報空間による都市空間強化のためのワイヤレス神経網の実証的研究」(JSPS科研費JP17KT0042)のための気象観測機器として採用されたものです。

POTEKAなどから収集したデータとオープンデータを組み合わせて、都市空間を活用するための多様なアプリケーションを構築できる環境を提供し、アイデアの創出とアプリケーションの生成による情報化都市空間を実現することが想定されています。

明星電気の気象観測技術が新しい技術を生み出す研究に貢献しています。

(担当: 気象防災事業部)

※島内での機器設置と計測には長崎市の特別な許可を得ています。

また、写真は長崎市の特別な許可を得て撮影しました。



ゾンデ展示コーナー

## 南極・北極科学館にゾンデ常設展示

情報・システム研究機構国立極地研究所様の南極・北極科学館に当社のGPSラジオゾンデRS-11Gが新たに展示され、レーウィンゾンデRS2-91、GPSラジオゾンデRS-06Gに続いて3機種目になります。

当社の南極観測との関わりは古く、南極観測第11次越冬隊までさかのぼります。この間、RS2-91、RS-06G、RS-11Gやオゾンホール発見につながるデータを収集したオゾンゾンデRS2-KC79などが使用されました。南極・北極科学館ではラジオゾンデ以外にも、雪上車や南極観測で実際に使用されていたものも多く展示され、観測隊員の部屋も再現されています。また、さわることのできる南極の氷や隕石、南極昭和基地のライブ映像、全天ドーム型のオーロラシアターなどが常設されています。

子供から大人まで楽しめる内容で、入館料は無料・撮影自由となっていますので、ぜひ足を運んでみてください。

南極・北極科学館

開館日時: 毎週火曜日～土曜日 10:00～17:00(最終入館16:30)

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.nipr.ac.jp/science-museum/>

(担当: 気象防災事業部)



明星電気展示ブース

## IHIフォーラム2017に出展

11月14日から18日までの5日間、豊洲IHIビル1階アトリウムにて、「IHIフォーラム2017」が開催され、当社もグループ企業として参加しました。

今回は「ものづくりの先の価値創造」をテーマとして、IHI各事業部門やグループ各社による製品・技術展示が行われました。当社は「イノベーション」と題されたエリアにおいて、超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKA NETの展示を行いました。期間中はさまざまな業種のお客様に当社ブースを訪問いただき、これまでになく貴重なご意見をいただきました。

明星電気は、今後も気象防災のセンシング技術で社会の安全・安心に貢献します。

(担当: 気象防災事業部)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。